アロプリノール錠「サワイ」をお飲みになる患者さんにお伝えください

服薬指導ガイド

医師又は薬剤師のみなさまへ

アロプリノール錠「サワイ」服用後の重大な副作用として、スティーブンス・ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死融解症等の皮膚障害、再生不良性貧血、汎血球減少等の血液障害、劇症肝炎等の肝障害の発現に特に注意することが必要です。

これらの副作用の初期症状が認められた場合には、アロプリノール錠「サワイ」の投与を中止し、すぐに医師又は薬剤師へ相談するよう、患者さんへご指導をお願いいたします。

本剤の実際の使用に際し、詳細は製品添付文書等をご参照ください。

沢井製薬株式会社

GU395001PV01 2015年5月㊐10

アロプリノール錠「サワイ」をお飲みになる患者さんへ

このお薬は、高尿酸血症（血液中の尿酸が多くなる状態）や痛風（血液中の尿酸が多くなって起こる病気）の治療に用いられます。
体内で尿酸が作られるのを抑え、血液中の尿酸の量を低下させるお薬です。

お薬をお飲みになる前に・・・

- 以前に薬を飲んで、発疹などが出たことがある。
- 肝臓の病気がある、あるいは過去にかかったことがある。
- 腎臓の病気がある。

などがあれば、このお薬をお飲みになる前に医師又は薬剤師にお伝えください。

飲み始めた後は・・・

このお薬を飲み始めた後、まれではありますが、重篤な副作用があらわれることがあります。
裏面に示すような症状があらわれたら、服用を中止し、すぐに医師又は薬剤師にご相談ください。

次のような症状に気づいたときには、服用を中止し、すぐに医師又は薬剤師にご相談ください。

発熱、発疹、のどの痛み、全身がだるい、食欲がない

また、この他にも、何か変だなと感じた場合には、すぐに医師又は薬剤師にご相談ください。

副作用の初期症状

アロプリノール錠「サワイ」を飲み始めた後、まれに見られる重篤な副作用の初期症状は以下の通りです。

皮膚の障害

発熱、発疹、のどの痛み、関節の痛みなどの感冒様症状、皮膚が斑状に赤くなる、眼が充血する、口の中があれる　などがあらわれた場合。

血液の障害

発熱あるいはさむけがする、のどが痛い、全身がだるい、顔やまぶたのうらが白っぽい、出血しやすくなる（歯ぐきの出血、鼻血など）、青あざができる（押しても色が消えない）、気分が悪くなりくらっとする（貧血の症状）　などがあらわれた場合。

肝臓の障害

食欲がない、全身がひどくだるい、皮膚や白目が黄色くなる、尿の色が濃く（茶色く）なった、体がかゆくなる、発疹が出た　などがあらわれた場合。